

シームレスマトリクススイッチャ

DIMAX804KC

取扱説明書 Ver.1.1.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.arvanics.com>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、クイックスタートガイドおよびコマンドガイドについては、弊社ホームページからのダウンロード提供のみになります。

■ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 設置し、周辺機器と接続をする。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■クイックスタートガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。

■コマンドガイド

[目的]

- ・ シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。



安全上のご注意







製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く

警告



■重い製品を持ち上げるときは

 指示	<p>●持ち上げるときは2名以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げる時、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に降ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>一人での持ち上げは負傷を招く原因となります。</p>
---	--







警告


■設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後に、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p>

■お使いのときは

 禁止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプタは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプタが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指示	<p>●電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>




■もしものときは

 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
--	--





注意

■設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●埃・油煙・湿気の多い場所に置かない 埃の多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける (ラックへ設置できる製品の場合) EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない (ゴム足付き製品の場合) ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

■お使いのときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプタ以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプタは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプタをコンセントから抜く 感電の原因になります。

目次

1. 同梱物の確認.....	7
2. 製品概要.....	8
3. 各部の名称とはたらき.....	9
3.1. フロントパネル.....	9
3.2. リアパネル.....	10
4. 基本設定・操作方法.....	11
4.1. DIMAX804KC の制御方法.....	11
4.2. フロントパネルボタンからの基本設定.....	12
4.2.1. Advanced メニュー.....	12
4.2.2. Layouts メニュー.....	13
4.2.3. User Presets メニュー.....	13
4.3. フロントパネルボタンからの切換.....	14
4.4. ログイン手順.....	15
4.5. Web ブラウザ画面の説明.....	16
4.6. 言語設定.....	17
4.7. 入出力マトリクスの操作方法.....	18
5. 詳細設定.....	19
5.1. 入力設定.....	19
5.2. 出力設定.....	20
5.2.1. 映像ウィンドウ.....	21
5.2.2. ビデオウォール.....	23
5.2.3. カスタム出力解像度.....	24
5.3. 詳細設定 (Advanced).....	26
5.3.1. レイアウト (Layouts).....	26
5.3.2. ユーザープリセット (User Presets).....	27
5.3.3. ネットワーク設定 (Remote Control).....	28
5.3.4. シリアルポート (Serial Port).....	28
5.3.5. パスワード (Password).....	29
5.3.6. 日付&時刻 (Date and Time).....	30
5.3.7. 切換効果 (Effects).....	30
5.3.8. エクストラ (Extra).....	31
5.3.9. OSD.....	33
5.3.10. テストモード (Test Mode).....	34
5.3.11. ログ (Logging).....	34
5.3.12. 情報 (Hardware Monitor Info).....	35
5.4. メディアプレーヤー機能.....	36
5.4.1. プレイリストの作成.....	37
5.4.2. スケジュールの作成.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5.5. シナリオ操作.....	38
5.6. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース.....	38
5.6.1. スケジュールイベントの作成.....	39
5.7. 外部キーボードを使った操作.....	40
6. 製品仕様.....	41
7. 正常に動作しないときは.....	42

1. 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

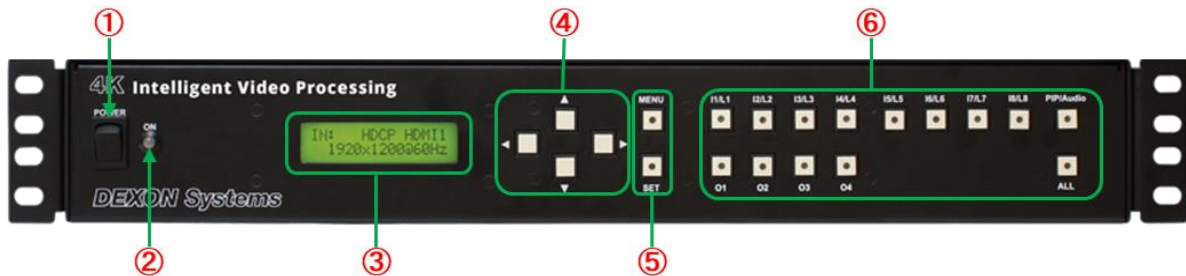
- | | | |
|-----------------|---|-----|
| • DIMAX804KC 本体 | … | 1 台 |
| • 専用電源コード | … | 1 本 |
| • 取扱説明書 (本書) | … | 1 冊 |

2. 製品概要

DIMAX804KC は 4K@30 (4:4:4)、HDCP 1.4/2.2 対応の 8 入力 4 出力のシームレスマトリクススイッチャです。出力は HDMI と HDBaseT 出力コネクタ間で 2 分配出力が可能です。ユーザーインターフェースにすぐれた Web ブラウザ設定画面を内蔵しており、LAN 経由でアクセスが可能です。また、PIP (ピクチャ・イン・ピクチャ) 機能を搭載しており、出力毎に最大 2 画面の映像オーバーレイが可能です。デジタルサイネージアプリケーションにおいて 4 面までのマルチディスプレイシステム (ビデオウォール) の構築に最適です。

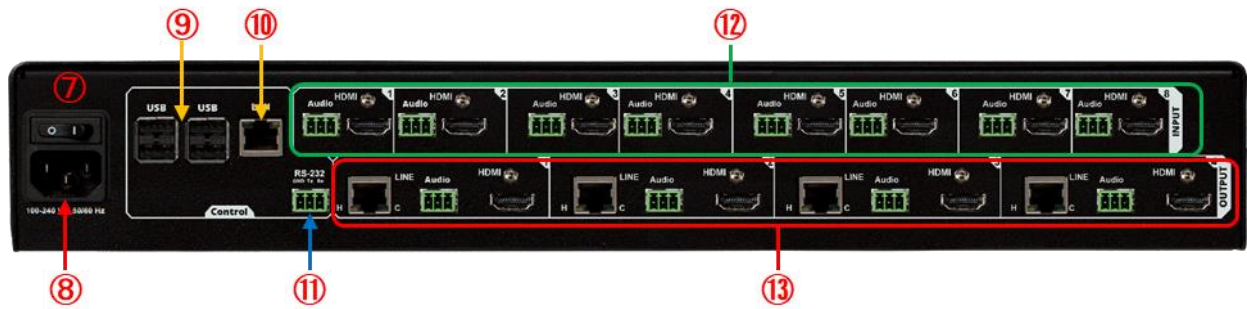
3. 各部の名称とはたらき

3.1. フロントパネル



番号	名称	説明
①	スタンバイスイッチ	主電源が入っている際に押すと本機が起動します。
②	パワーLED	電源が入っている際に点灯します。スタンバイ時は消灯します。
③	LCD ディスプレイ	メニューの選択やステータスを確認できます。
④	矢印ボタン	▲▼◀▶のボタンでメニューの選択を行います。
⑤	メニュー / 決定ボタン	メニューをLCDディスプレイに表示します。 設定メニュー項目の選択時は設定の決定をします。
⑥	オープンレイアウト / オーバーレイボタン	レイアウト呼び出し、オーバーレイウィンドウの表示をします。

3.2. リアパネル



番号	名称	説明
⑦	主電源ボタン	主電源を入れる際に利用します。
⑧	電源	添付の電源コードを接続します。
⑨	USB コネクタ	メディアプレーヤー機能を利用する際に利用します。
⑩	LAN コネクタ	ブラウザでの操作や LAN コマンドを受けることができます。
⑪	RS-232C コネクタ	RS-232C コマンドを受けることができます。
⑫	入力コネクタ	HDMI とアナログオーディオを入力します。
⑬	出力コネクタ	HDMI、HDBaseT、アナログオーディオを出力します。

4. 基本設定・操作方法

4.1. DIMAX804KC の制御方法

本機は以下の方法で制御することができます。

1. フロントパネルボタンからの設定・制御

フロントパネルボタンから本機の基本的な設定変更が可能です。またフロントパネルボタンで入出力信号の切り換え、表示、レイアウトパターンの呼び出しを行うことができます。なお、フロントパネルボタンからは本機で設定できる全ての設定を行うことはできません。詳細設定は Web ブラウザから設定をしてください。

2. Web ブラウザからの設定・制御

本機を LAN に接続します。本機の IP アドレスを同じネットワーク上にある PC や iOS、アンドロイドタブレットの HTML5 対応ブラウザに入力してください。ネットワークが正常に動作している場合、DXHTML Control アプリケーションのログインウィンドウが表示されます。このログインウィンドウで全ての設定と操作を行うことができます。

デフォルト設定

ユーザー名 : Administrator

パスワード : dexion

3. 外部制御コマンドからの制御

外部制御コマンドを利用して、リモートオペレータ PC やタッチパネル等から本機を制御することが可能です。詳細は別冊のコマンドガイドをご確認ください。

4.2. フロントパネルボタンからの基本設定

本機はフロントパネルボタンから設定・制御することができます。以下のメニューは「MENU」ボタンを押した後▲▼ボタンを押すことで選択できます。

4.2.1. Advanced メニュー

- **Remote Control**

IP アドレスやネットワークマスク等のリモート制御に関するパラメータを設定します。設定を保存するには「SET」ボタンを押し、設定を有効にするには「Apply now」を選択してください。

- **Serial Port**

シリアルポートのパラメータを変更できます。
変更可能なパラメータ：ボーレート、データビット、フロー制御

- **Button Function**

フロントパネルボタンの操作モードを設定します。以下のモードが利用可能です。

- **Overlay**

フロントボタンにより、個々のオーバーレイウィンドウを操作します。INPUT ボタンで選択された入力信号は、OUTPUT ボタンで選択された出力チャンネルに表示されます。

- **Layout**

あらかじめ登録されているレイアウトをフロントボタン操作で呼び出すことができます。レイアウトは最大 8 個までフロントボタンに割当可能です。

- **OSD**

現在の出力設定や入力接続に関する情報テキストを、OSD（オンスクリーンディスプレイ）パネル上に表示することができます。ここではOSDパネルの表示設定を変更できます。

- **Auto (自動)**

設定が変更された場合、OSDパネルが自動的に表示されます。

- **Yes**

OSDパネルが恒久的に表示されます。

- **No**

OSDパネルは表示されません。

デフォルトでは、OSDパネルは各ディスプレイ出力の左上に表示されます。Autoの場合、表示時間は4秒です。これらのパラメータは、Webブラウザ設定画面から変更できます。

- **Factory Reset**

本機の全ての設定を工場出荷時に戻します。

4.2.2. Layouts メニュー

本機が表示する映像ウィンドウの配置を表すパラメータ群のことを、レイアウトと呼びます。

レイアウトには以下のパラメータが含まれます。

- 入力される映像信号・音声信号
- 入力信号を割り当てた出力チャンネル
- 入力映像と出力映像のトリミング (切り抜き) の数値
- PIP の入力信号とその表示位置

レイアウトメニューには、使用可能なレイアウトの一覧が表示されます。各レイアウト番号を選択すると、そのサブメニューが表示されます。サブメニューには、以下の設定項目が表示されます。

- Store (レイアウトの保存・上書き)
- Recall (保存済みレイアウトの呼び出し)
- Clear (保存済みレイアウトの削除)

現在表示中の映像ウィンドウの配置を保存する場合は、「Store」メニューを選択してください。Store の前に「*」が付いている場合は、レイアウトが保存済みであることを示しています。

保存済みのレイアウトは、Recall メニューで呼び出すことができます。

レイアウトが不要になった場合は、Clear メニューを選択してください。Clear の前に「*」が付いている場合は、レイアウトが空であることを示しています。

Button Function を Layout モードに設定している場合は、オープンレイアウトボタン (L1~L8) を押すことでレイアウトの切り換えが可能です。

4.2.3. User Presets メニュー

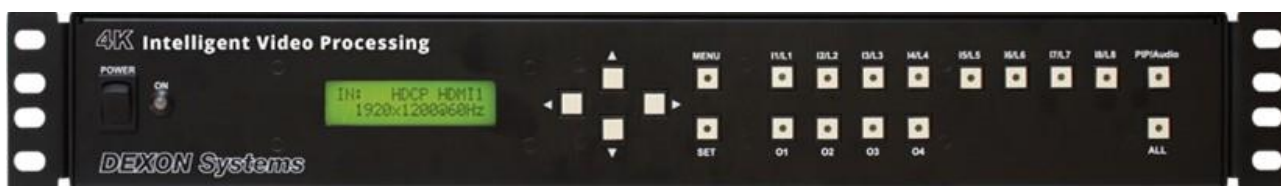
本機で設定したすべての入力設定、出力設定、詳細設定を含む設定パラメータ群のことを、ユーザープリセットと呼びます。ユーザープリセットメニューは、前述のレイアウトメニューと同様、以下のメニュー構成となっています。

- Store (ユーザープリセットの保存・上書き)
- Recall (保存済みユーザープリセットの呼び出し)
- Clear (保存済みユーザープリセットの削除)

本機は 4 つのプリセットを保存することが可能です。

4.3. フロントパネルボタンからの切換

本機はフロントパネルボタンから映像の入出力を簡単に切り換えることができます。



- **入力信号の表示**

入力信号を表示するには、入力チャンネルボタンを選択します。その後、入力信号を表示する出力チャンネルボタンを選択してください。全ての出力チャンネルに表示させる場合は、「ALL」ボタンを選択してください。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **入力信号の表示終了**

いずれかの入力チャンネルボタンを押すと、その入力チャンネルが現在表示されている出力チャンネルボタンが点灯します。その後、入力信号の表示を終了したい出力チャンネルボタンを選択してください。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **PIP・音声選択**

「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点灯し、PIP出力の操作が有効になります。その後、PIPウィンドウを表示させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。PIPウィンドウを閉じたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「PIP/Audio」ボタンのLEDが点灯時にもう一度「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが点滅し、音声出力の操作が有効になります。その後、音声を出力させる入力チャンネルボタンと出力チャンネルボタンを選択してください。音声出力を止めたい場合は、LEDの点灯した出力チャンネルボタンを再度押してください。

「PIP/Audio」ボタンのLEDが点滅時にもう一度「PIP/Audio」ボタンを押すと、ボタンのLEDが消灯し、メインチャンネルの操作が有効になります。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Overlay」に設定されている時に実行可能です。

- **レイアウト呼び出し**

レイアウトを呼び出す際は、オープンレイアウトボタン (L1~L8) を選択してください。

本操作は、「Button Function」のパラメータが「Layout」に設定されている時に実行可能です。


4.4. ログイン手順

<p>ステップ1. 本体背面のLANポートとネットワークスイッチ、またはPCとLANケーブルで接続します。その後、フロントパネルの電源を投入してください。</p>	
<p>ステップ2. ネットワーク設定を行います。デフォルト IP アドレスは DHCP 自動取得になっています。IP アドレスはフロントパネルとキー操作によって以下の操作で変更可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Advanced ▶ Remote Control ▶ DHCP Enable へ進み、▶ ボタンを押します。 2. ▲▼ボタンで Disable を選び Set ボタンを押します。 3. ◀ ボタンを押して戻り、▲▼ボタンを押して IP Address を選び ▶ ボタンを押します。 4. ▲▼ボタンで IP アドレスを設定し、◀ ボタンで戻ります。 5. ▲▼ボタンを押して Network Mask を選び ▶ ボタンを押します。 6. ▲▼ボタンで IP アドレスのサブネットマスクを設定し、◀ ボタンで戻ります。 7. ▲▼ボタンを押して Apply now を選択し、Set ボタンを押します。 	
<p>ステップ3. PCのウェブブラウザを起動し、アドレスバーに上記で設定したIPアドレスを入力します。ログイン画面が表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力してください。 ユーザー名：Administrator パスワード：dexon</p> <p>*パスワードはWebブラウザから変更可能です。 *IPアドレス設定後接続がうまくできない場合は、本機とPCをLANケーブルで接続した状態で本機を再起動してください。</p>	

4.5. Web ブラウザ画面の説明

Web ブラウザ経由で本機にログインすると、以下のコントロール画面が表示されます。

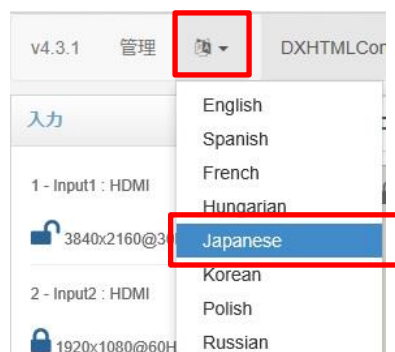


<p>① 入力信号ステータスエリア</p>	<p>入力信号のステータスを表示します。 ここで認識された入力信号の解像度、リフレッシュレート、および HDCP のステータスを確認することができます。 歯車アイコン  をクリックすることで、入力チャンネルの設定ウィンドウが表示されます。</p>
<p>② レイアウトボタン</p>	<p>ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、ボタン操作一つで簡単に呼び出すことが可能です。</p>
<p>③ アサインメントエリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メインタブ 入力チャンネルと出力チャンネルのマトリクスを表示します。垂直方向が入力、水平方向が出力になります。ボタンを押すことで目的の入力信号を表示器に出力します。 • PIP タブ PIP の入出力を割り当てるのが可能です。各出力先の表示器に対して 1 つの PIP オーバーレイを表示できます。 • 音声タブ 音声の出力先を割り当てるのが可能です。映像チャンネルと非連動で音声チャンネルを切り換えできます。


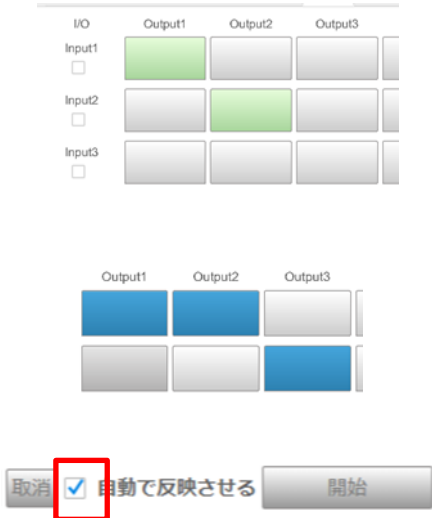



④ 表示オプションエリア	<p>現在の出力信号のステータス（メイン出力、PIP、音声）を表示します。</p> <p>各出力表示エリア内にある歯車アイコン[⚙]をクリックすることで、出力信号を個別に設定することが可能です。</p> <p>全ての出力信号を一括で共通の設定にしたい場合は、表示オプションエリアの右上にある歯車アイコン[⚙]をクリックします。</p>
⑤ 詳細設定エリア	<p>以下の詳細設定項目がこのエリアに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レイアウト • ユーザープリセット • ネットワーク設定 • シリアルポート • パスワード設定 • 日付&時刻 • Effects (切換効果の設定) • エクストラ • OSD • ログ • テストモード • 情報

4.6. 言語設定

初めてログインした場合、コントロール画面は英語表示になっています。ログイン後、画面上部の言語設定アイコンをクリックし、「Japanese」を選択することで日本語に言語を変更できます。




4.7. 入出力マトリクス操作方法

<p>ステップ1. アサインメントエリアにある「メイン」タブを選択します。デフォルトでは、入出力のマトリクス画面はグリッドモードで表示されています。</p> <p>※ 画面上部にある「グリッドサイズ」にチェックを入れることで、アサインメント画面の表示を切り換えることが可能です。</p>	
<p>ステップ2. 入力チャンネルと出力チャンネルが交差するボタンをクリックします。ボタンが緑色で表示され、表示器に選択した入力信号の映像が表示されます。</p> <p>※ 選択したボタンが青色で表示されている場合は、待機中の状態で、まだ表示器に映像は表示されていません。この状態から「開始」ボタンを押すと、表示器に映像が表示されます。</p> <p>※ 自動的に反映させる場合は、アサインメント画面下部にある「自動で反映させる」にチェックを入れてください。</p>	
<p>ステップ3. 緑色のボタンをもう一度クリックすると、映像表示が閉じます。「全て閉じる」ボタンを押すことで表示中の全ての映像を閉じることが可能です。</p>	
<p>ステップ4. PIP タブを選択すると、PIP のアサインメント画面が表示されます。ステップ2. と同じ操作をすることで、表示器に指定した入力映像を PIP 表示できます。</p>	
<p>ステップ5. 音声タブを選択すると、音声出力のアサインメント画面が表示されます。ステップ2.と同じ操作をすることで、表示器に指定した入力チャンネルの音声を出力することが可能です。</p> <p>※ 「オーディオフォロービデオ」にチェックを入れると、映像チャンネルの切り換えと連動して音声チャンネルが切り換わるようになります。</p>	

5. 詳細設定

5.1. 入力設定

入力信号ステータスエリア内の各入力チャンネルの  アイコンをクリックすると、入力信号設定ウィンドウが開きます。入力信号に関するパラメータの設定・確認を行うことができます。





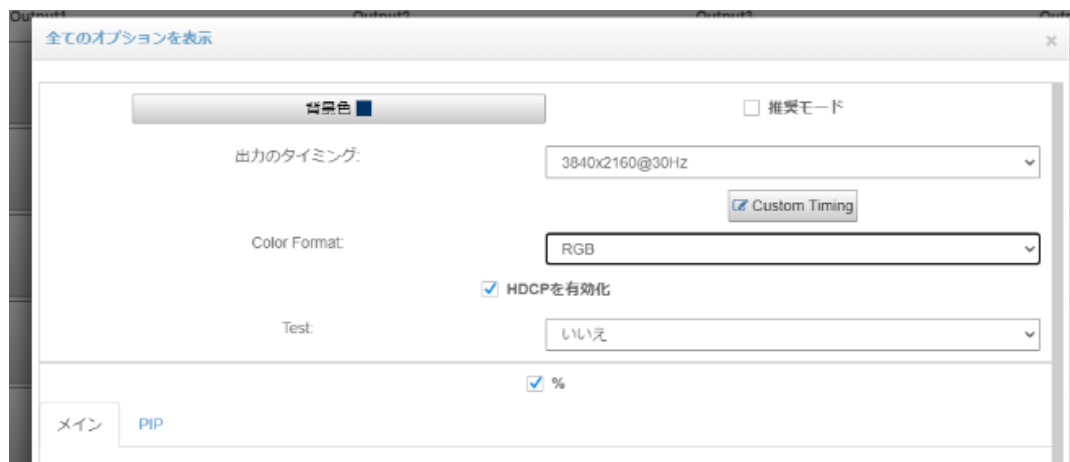
- **トリミング**
入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります
- **EDID**
入力チャンネルの EDID 情報を設定します。リストから映像解像度を選択する、または数値を指定してカスタム EDID を設定することが可能です。

【注意】 カスタム EDID 機能を利用する際は、事前検証を行ってください。

- **音声入力**
入力音声信号を、HDMI エンベデッド音声またはアナログ音声入力の間で選択できます。
- **HDCP を有効化**
入力チャンネルの HDCP 対応についての設定ができます。「No」に設定した場合、接続機器は著作権保護されていない映像信号のみを出力します。入力信号に著作権保護されたコンテンツが含まれる場合は、「1.x」、または「1.x - 2.2」を設定してください。
- **入力名**
コントロール画面上に表示される入力チャンネルの名称を設定できます。
- **情報**
入力信号のステータスを表示します。

5.2. 出力設定

表示オプションエリア内の歯車アイコン  をクリックすると、全出力チャンネル共通の出力設定ウィンドウが開きます。出力チャンネルごとに個別の出力信号設定を行いたい場合は、各出力ウィンドウ内の歯車アイコン  をクリックします。



- **背景色**
スクリーンの背景色を設定します。
- **出力のタイミング**
出力解像度を設定します。デフォルトでは、推奨の出力解像度が設定されています。出力解像度を変更する場合は、「推奨モード」のチェックを外し、ドロップダウンリストから出力解像度を選択してください。
- **Color Format**
出力映像のカラーフォーマット (RGB / YCbCr 4:4:4 / YCbCr 4:2:2) を設定できます。
- **HDCP を有効化**
チェックを入れると出力信号に HDCP を付加するようになり、HDCP 対応モニタに HDCP 付加された映像を表示できるようになります。
- **Test**
テストパターンを出力することが可能です。オーバーラップやベゼル補正の調整時に使用します。

5.2.1. 映像ウィンドウ

「メイン」「PIP」タブを選択することで、それぞれメインウィンドウと PIP ウィンドウの表示設定を変更することが可能です。

メイン・PIP 共通設定項目

- **トリミング**

表示する入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

- **配置**

映像ウィンドウの位置とサイズを左、上、幅、高さの数値を調整することで行うことができます。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

- **Frame**

映像ウィンドウの外周にフレームを付けることができます。フレームのサイズと色を設定できます。

- **Opacity**

映像ウィンドウの透明度を設定できます。Opacity を 100% に設定すると不透明の状態となり、Opacity の数値を下げていくと出力映像が透過して表示されます。



PIP 設定項目

- **サイズ**
PIP ウィンドウの大きさを 3 段階の中から選択することが可能です。
- **位置基準**
PIP ウィンドウの表示位置を 5 つの配置から選択可能です。

PIP ウィンドウの位置を調整したい場合は、「配置」にある各項目の数値を変更することで大きさや位置を自由に変更することが可能です。

5.2.2. ビデオウォール

モニターグリッド、ベゼル補正の設定を行うと、ビデオウォールモードが有効になります。



- **モニターグリッド**
スクリーンの並びを指定します。スクリーンの数（水平方向×垂直方向）を入力します。
- **ベゼル補正**
映像のベゼル補正を設定します。水平方向と垂直方向のベゼル幅を入力します。

各項目の数値を入力後に「設定」ボタンを押すとウォール表示に切り換わります。「初期値に戻す」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

- **アスペクト比を維持**
入力信号のアスペクト比を崩さずに映像を表示したい場合は、チェックを入れます。
- **位置基準**
「アスペクト比を維持」を有効にした場合において、ウィンドウサイズを変更したときの表示位置の基準を指定します。

5.2.3. カスタム出力解像度

本機は一般的な表示器で使われている解像度情報を内蔵しています。しかし、LED パネルディスプレイ等を利用する際は、内蔵のリストにないフォーマットが必要となる場合があります。カスタム出力解像度機能を利用することにより、パラメータを変更することで出力解像度を作成することができます。

The screenshot shows the 'Custom Output Timings' interface. On the left, a list of four custom resolutions is shown: 1: 640x480@60Hz, 2: 720x480@60Hz, 3: 720x576@50Hz, and 4: 800x600@60Hz. The fourth option is selected. Below the list is a dropdown menu currently showing '640x480@60Hz'. To the right of the list are three buttons: a plus sign (+) for adding a new resolution, a pencil (✎) for editing a selected resolution, and a minus sign (-) for deleting a selected resolution. Below these buttons is a 'Store' button. The main area contains various input fields for timing parameters: Pixel Clock in MHz (39.79), H. Active Pixels (800), H. Blank Pixels (256), H. Front Porch (40), H. Sync Width (128), H. Sync Polarity (+) (checked), V. Active Lines (600), V. Blank Lines (28), V. Front Porch (1), V. Sync Width (4), and V. Sync Polarity (+) (checked). An 'Interlaced' checkbox is also present. At the bottom, there is a 'Store' button and an 'OK' button.

新しいカスタム解像度を作成することができます。

選択したカスタム解像度を修正します。

選択したカスタム解像度を消去します。

出力解像度のパラメータを左のリストからインポートします。

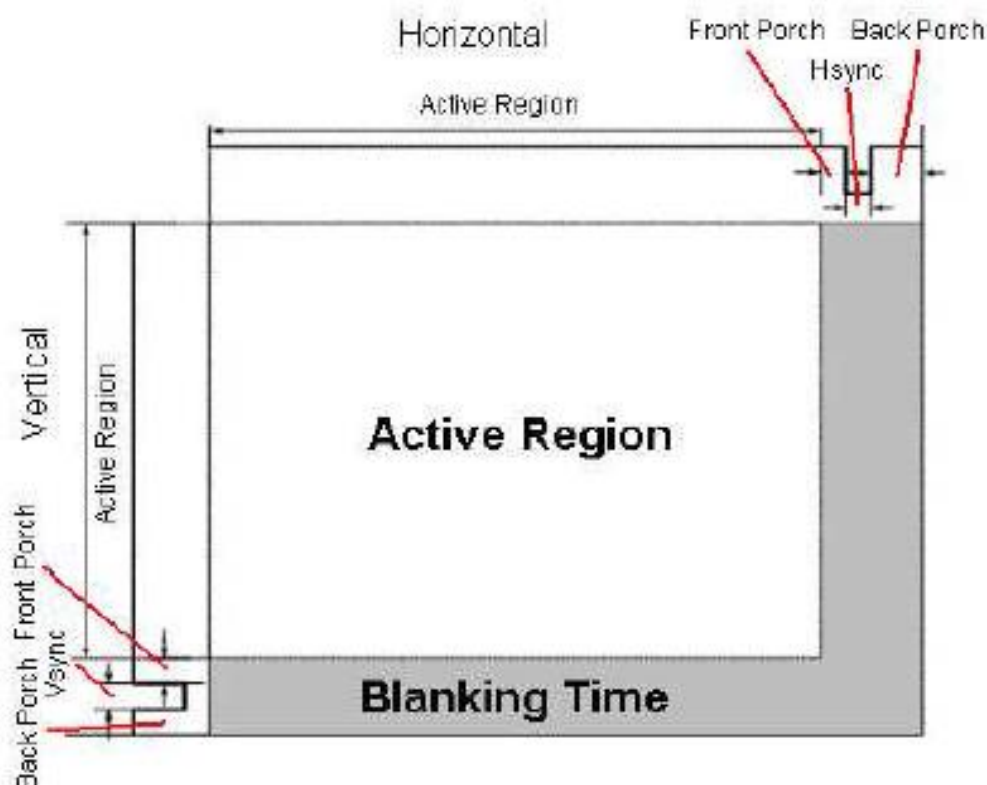
カスタム出力解像度設定画面により、新しい出力解像度を作成や修正、削除を行うことができます。カスタム出力解像度設定画面には、「設定」画面の「グリッドサイズ」上にある「Custom Timing」ボタンから入ることができます。



カスタム出力解像度を設定することで、本機の出力チャンネルが対応している範囲内での出力解像度のリストを増やすことができます。作成したカスタム出力解像度は他の出力チャンネルでも使用することができます。

カスタム出力解像度設定画面には以下のパラメータがあります。

- Pixel Frequency (MHz)
- Active Area Width (pixels)
- H Blanking Interval (pixels)
- H Front Poach (pixels)
- H Sync Width (pixels)
- Active Area Width (pixels)
- V Blanking Interval (pixels)
- V Front Poach (pixels)
- V Sync Width (pixels)
- Sync polarities (positive もしくは negative)



各パラメータの関係性は以下となります。

- $V \text{ Blanking Interval} = V \text{ sync} + V \text{ Back Porch} + V \text{ Front Porch}$
- $H \text{ Blanking Interval} = H \text{ sync} + H \text{ Back Porch} + H \text{ Front Porch}$
- $V \text{ Total Size} = V \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Height}$
- $H \text{ Total Size} = H \text{ Blanking Interval} + \text{Active Area Width}$
- $\text{Line Frequency} = \text{Frame rate} \times V \text{ total size}$
- $\text{Pixel Frequency} = \text{Line Frequency} \times H \text{ total size} = \text{Frame rate} \times V \text{ Total Size} \times H \text{ Total Size}$

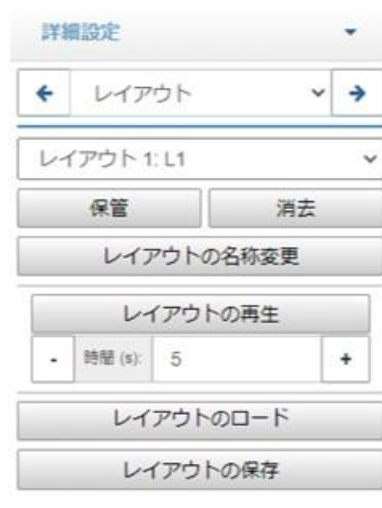
【注意】 カスタム出力解像度を利用する際は、事前検証を行ってください。

5.3. 詳細設定 (Advanced)

詳細設定エリアに表示される設定項目について、以下で説明します。

5.3.1. レイアウト (Layouts)

入出力チャンネルの選択状態 (レイアウト) を保存し、レイアウトボタンエリアから簡単に呼び出すことが可能です。ドロップダウンリストから登録先のレイアウトボタンを選択します。保管ボタンを押すと、現在のレイアウトが登録されます。レイアウトボタンに登録されているレイアウトを消したい場合は、消去ボタンを押します。



- **レイアウトの名称変更**
選択したレイアウトボタンの名前や色を変更することが可能です。
- **レイアウトの再生**
保存したレイアウトを指定した間隔で自動的に切換表示することが可能です。
- **レイアウトのロード**
保存した.xml形式のレイアウトファイルを本機にインポートできます。
- **レイアウトの保存**
レイアウトを.xmlファイル形式でエクスポートできます。

5.3.2. ユーザープリセット (User Presets)

すべての入出力設定および詳細設定のパラメータをプリセットボタンに保存し、呼び出すことが可能です。異なるユーザープリセットを4つまで保存可能です。ドロップダウンリストから登録先のプリセットボタンを選択します。

保存ボタンを押すと、現在の設定パラメータがプリセットボタンに登録されます。プリセットボタンの登録を解除する場合は、消去ボタンを押します。

詳細設定

← ユーザプリセット ▾ →

プリセット 1: P1 ▾

保存 消去

プリセットの名称変更

ユーザプリセット

P1 P2

P3 P4

- **プリセットの名称変更**
選択したプリセットボタンの名前を変更することが可能です。
- **ユーザープリセット**
登録済みのプリセットボタンを押すことで、ユーザープリセットのリストアが実行されます。

【注意】 ユーザープリセットをリストアすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

5.3.3. ネットワーク設定 (Remote Control)

ネットワークパラメータを設定することができます。DHCP 自動取得もしくは固定 IP (IP アドレス、サブネットワークマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS) を設定できます。

詳細設定

← ネットワーク設定 ▼ →

IPアドレス: 192.168.1.100

ネットワークマスク: 0.0.0.0

Default Route:

Primary DNS:

Secondary DNS:

DHCP

適用

5.3.4. シリアルポート (Serial Port)

シリアルポートのパラメータを設定できます。

- ボーレート
- データビット
- パリティ
- ストップビット
- フロー制御

詳細設定

← シリアルポート ▼ →

ボーレート: 9600 ▼

データビット: 8 ▼

パリティ: None ▼

ストップビット: 1 ▼

フロー制御: None ▼

設定

5.3.5. パスワード (Password)

本機には2つのデフォルトユーザーアカウントがあり、1つは "Administrator" というユーザー名の管理者アカウント、もう1つは "User" というユーザー名の一般ユーザーアカウントがあります。こちらの画面でアカウントのパスワード変更が可能です。

詳細設定

← Password ▾ →

New Administrator Password:

.....

設定 消去

New User Password:

設定 消去

Keylock

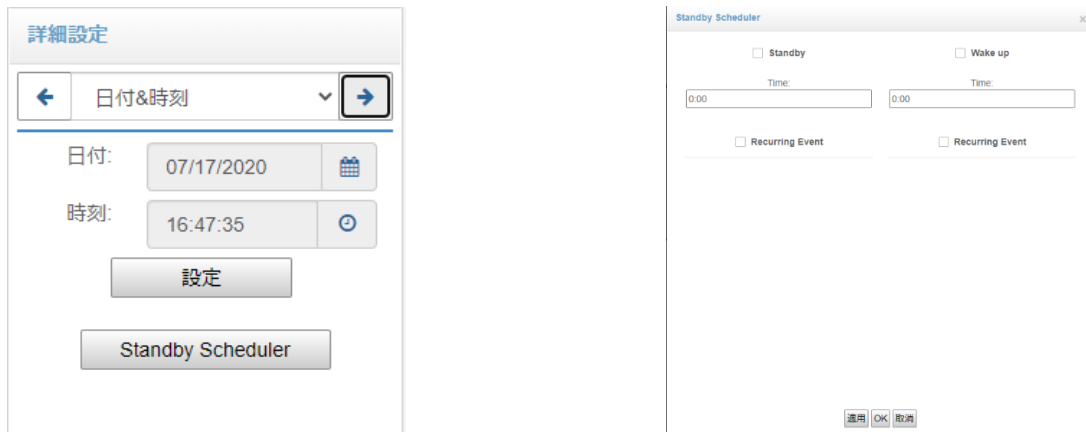
管理者アカウントのパスワードは工場出荷時に「dexion」で設定されています。一般ユーザーのパスワードは未設定 (空白) です。

【注意】 こちらの設定項目は Administrator アカウントのみ設定変更が可能です。

「Keylock」にチェックを入れると、本機フロントパネルのボタン操作をロックできます。

5.3.6. 日付&時刻 (Date and Time)

システムの日付と時間を設定できます。また、指定した時刻にシステムのスタンバイ、ウェイクアップをスケジュール実行することも可能です。

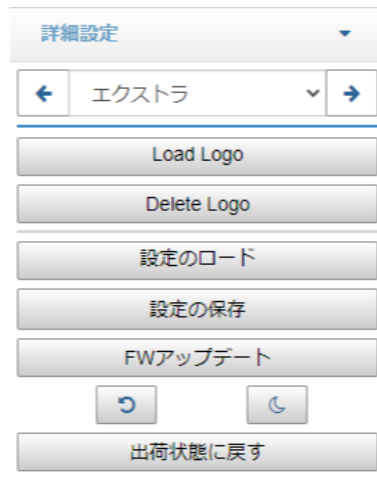


5.3.7. 切換効果 (Effects)

映像の表示・消去・切換時の効果と時間を設定できます。



5.3.8. エクストラ (Extra)



- **Load Logo / Delete Logo**

ロゴを設定することができます。ロゴはユーザーインターフェースウィンドウの右上に表示されます。Load Logo ボタンを押してロゴに使用する画像ファイルを選択してください。ユーザーロゴのイメージは最大 1 MB の png フォーマットで登録してください。登録したロゴを削除する場合は、Delete Logo ボタンを押してください。

- **設定のロード**

前回保存した構成のファイルをロードできます。その際、ロード前の構成は消去されます。

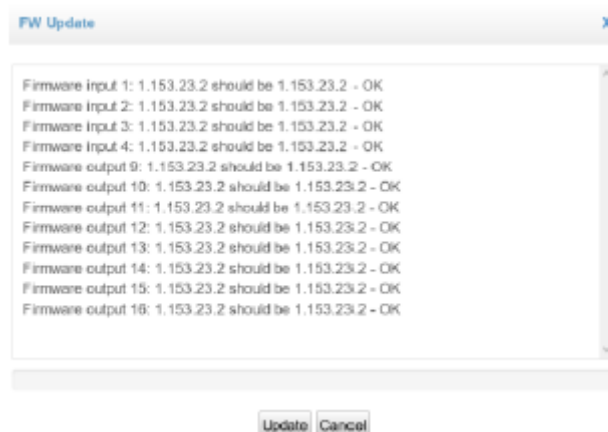
【注意】 構成をロードすると、システムは再起動しユーザーはログアウトします。設定を行うには再度ログインが必要です。

- **設定の保存**

現在の構成をファイルに保存されます。

- **FW アップデート**

ファームウェアアップデートダイアログを開きます。Update ボタンを押すことで、新しいバージョンや別のバージョンのファームウェアがアップロードされます。



- **再起動**
本機を再起動します。
- **スタンバイ**
本機をスタンバイモードに移行します。
- **出荷状態に戻す**
全ての設定とプリセット、レイアウトが消去されます。

5.3.9. OSD

出力映像に OSD を表示することが可能です。このタブでは、OSD パネルの表示に関するパラメータを設定できます。OSD パネルは、すべての出力ディスプレイに表示されます。
また、OSD の背景色、文字色、ハイライト色を指定することができます。



The image shows a screenshot of the OSD settings menu. At the top, there is a title bar labeled '詳細設定' (Detailed Settings) with a dropdown arrow. Below it is a navigation bar with a left arrow, the text 'OSD', and a right arrow. The main content area is titled 'OSDを表示' (OSD Display) and has a dropdown menu set to '自動' (Automatic). Below this are three input fields: '時間 (s): 4' (Time (s): 4), '左 (%): 1' (Left (%): 1), and '上 (%): 1' (Top (%): 1). Each field has a minus sign on the left and a plus sign on the right. At the bottom, there are three color selection buttons: '背景色' (Background Color) with a blue square, 'テキストの色' (Text Color) with a white square, and 'ハイライト' (Highlight) with an orange square.

- **OSD を表示**
OSD を常に表示する・非表示にする、または表示後自動的に非表示を選択できます。
- **時間**
OSD の表示時間を秒単位で設定できます。
- **左/上**
OSD の表示位置を左上隅の座標で指定できます。数値は、出力スクリーンの全寸法に対するパーセンテージで入力してください。

5.3.10. テストモード (Test Mode)

本機に設定した様々な自動設定のテストや、機能のデモンストレーションに使用できます。一連の異なる設定は、OK ボタンを 1 回押すごとに作成できます。再生ボタンを押すことで、生成された一連の設定を実行します。オペレーターが手動で設定リストを確認することも可能です。

5.3.11. ログ (Logging)

本機で行ったオペレーションをログファイルとして表示・保存することができます。ログファイルは日付を選択して呼び出すことができます。システムログは 180 日間保存されます。

以下のログタイプメッセージを保存することが可能です。

- Error
- Warning
- Info
- Debug
- HW Monitor
- Trace

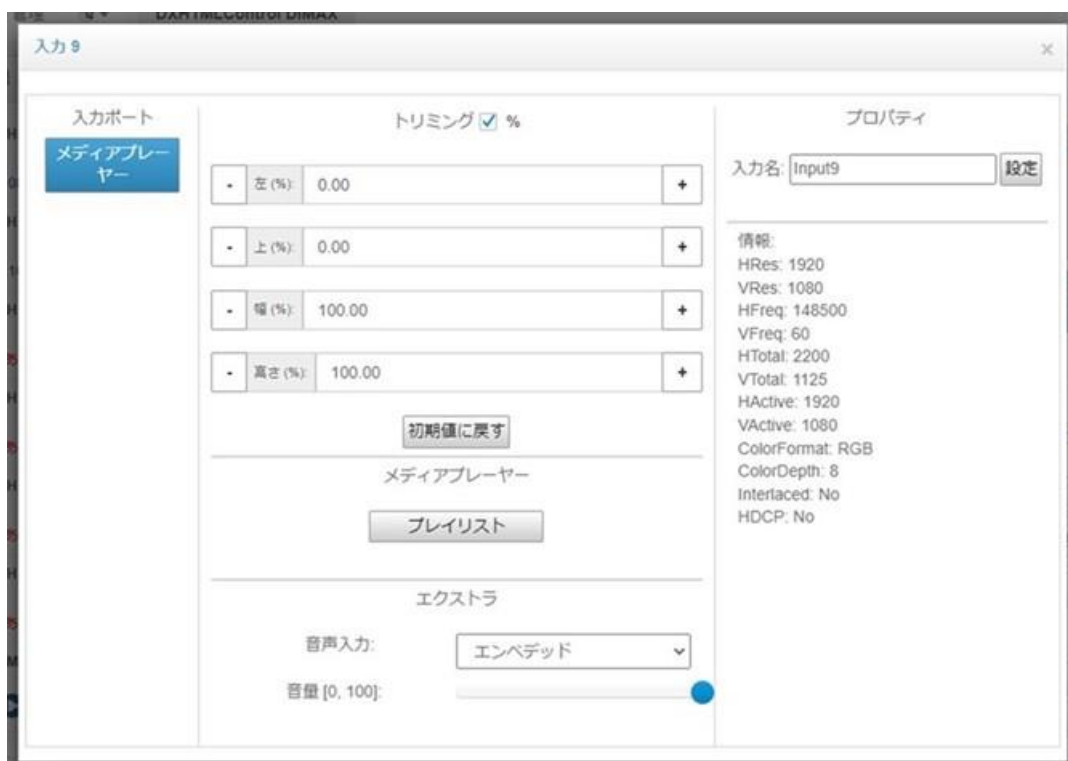
5.3.12. 情報 (Hardware Monitor Info)

本機に関する特別な情報（ファームウェアバージョン、ハードウェアセンサー、温度など）を確認できます。表示される情報は5秒間隔で更新されます。



センサーが正常な変数を測定している際は、緑色のランプが表示されます。1つもしくは複数の変数が適正な領域を超える場合、赤色のランプが表示されます。

5.4. メディアプレーヤー機能








9番の入力チャンネルはデジタルサイネージ入力になっており、メディアプレーヤー機能を利用することで、デジタルサイネージプレゼンテーションが可能になります。カレンダーベースのプレゼンテーションや静的プレイリストのプレゼンテーションを作成することができます。プレゼンテーションには様々な種類のコンテンツを使用することができます。

- AVI もしくは H.264 に対応した USB ファイルもしくはディレクトリ上のビデオ
- AVI もしくは H.264 に対応したネットワークビデオファイルもしくはディレクトリ上のビデオ
- IP ストリーミング (RTSP)
- HTML5 Web ページ
- VNC クライアント

5.4.1. プレイリストの作成

以下の手順でプレゼンテーションのプレイリストを作成します。

<p>ステップ1. コントロール画面左側の入力ウィンドウから、「Input9 : MediaPlayer」の設定ボタンをクリックします。</p>	
<p>ステップ2. 入力9の詳細設定画面が表示されます。「プレイリスト」ボタンをクリックします。</p>	
<p>ステップ3. プレイリストウィンドウが表示されます。「新規作成」をクリックします。</p>	
<p>ステップ4. 設定ウィンドウが表示されます。名前のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。</p>	
<p>ステップ5. プロトコルのドロップダウンリストから、プレゼンテーションの種類を選択します。</p>	
<p>ステップ6. 再生するメディアの場所（ファイルパス、URL、IP アドレス等）を入力します。「参照」ボタンを押すことで、リストからメディアファイルを選択することも可能です。</p>	
<p>ステップ7. 入力が完了したら、保管ボタンをクリックします。</p>	

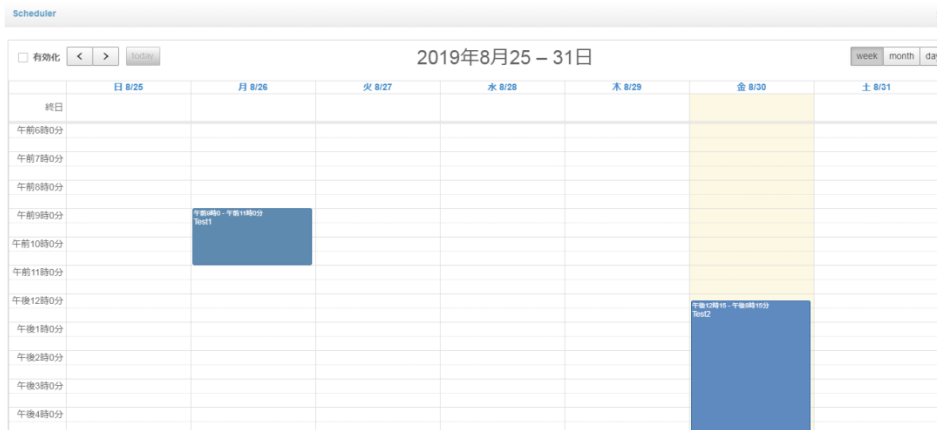
作成したプレゼンテーションをアクティブにするには、名前の左にあるチェックボックスを選択してチェックを入れてください。一度にアクティブにすることができるプレゼンテーションは1つです。このアクティブ化は、コントロールセクションでも変更することができます。このプレイリストプレゼンテーションの優先順位は、カレンダーベースのプレゼンテーションよりも高くなります。

5.5. シナリオ操作

ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、スケジュールで複数のレイアウトを簡単に切り換えることができます。本機にはレイアウトを最大 32 個まで保存できます。

5.6. カレンダーを利用した DXScenario ユーザーインターフェース

カレンダーを利用し、シナリオを動作させることができます。



5.6.1. スケジュールイベントの作成

以下の手順でプレゼンテーションを追加します。

1. カレンダーボタンを押します。
2. カレンダーからシナリオを動作させたい日付をクリックします。
3. 設定ウィンドウが表示されます。Name のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。
4. プロトコルドロップダウンリストから、イベントタイプを選択します。
 - Recall Layout = レイアウトの呼び出し
 - Text Over Serial Port = シリアルポートからテキストの送信
 - Hex Over Serial Port = シリアルポートから HEX の送信

シリアルポート経由で string もしくは byte array を送信できます。例えば、byte array なら 01 A4 05 30 01 は 1 byte = 2 hex digit とスペース 1 つを意味しています。

5. Recall Layout を選択した場合は呼び出し対象のレイアウトを選択します。Text (Hex) Over Serial Port を選択した場合は送信するデータを入力します。
6. 常時プレゼンテーションを表示する場合は、「Active All Day Every Day」ボックスにチェックを入れてください。「Active All Day Every Day」を選択すると起動時と毎晩 0:00 にプレゼンテーションがスタートします。
7. プレゼンテーションの開始時刻と終了時刻を設定したい場合は、「Start Time」と「End Time」を入力します。
8. 特定の時間帯で繰り返してプレゼンテーションを利用したい場合は、「Recurring Event」をチェックしてください。以下のオプションが選択できるようになります。

Daily

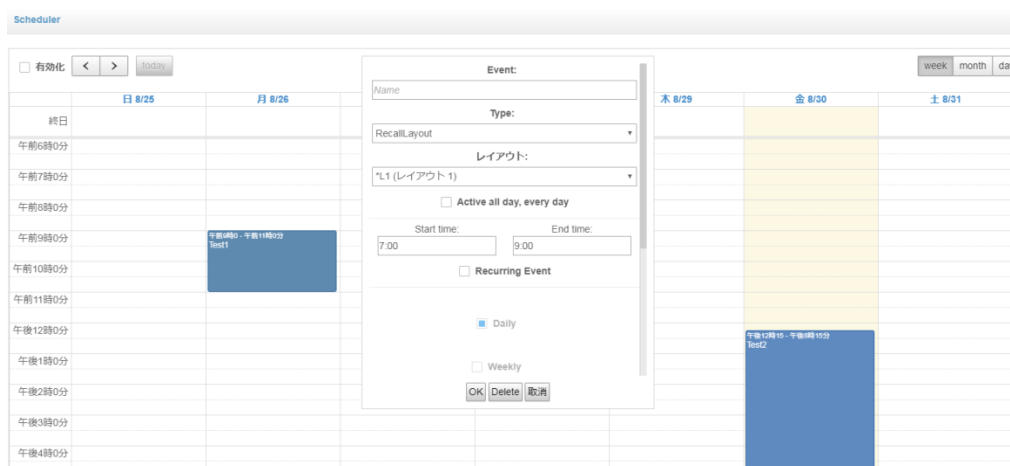
- ・ Every day 毎日
- ・ Every weekday 毎平日（月～金）
- ・ Every weekend 毎週末（土、日）

Weekly 実行する曜日を選択できます。

「Recurring Event」をチェックした際は、「Start Date」と「End Date」を設定する必要があります。

9. 設定が終わったら、「OK」をクリックしてください。

すべてのイベントを無効にするには、左上にある「Enable」チェックボックスを外してください。



5.7. 外部キーボードを使った操作

標準のキーボード、またはプログラム可能なキーパッドを接続することで、作成済みのレイアウトを簡単に呼び出すことが可能です。レイアウトを呼び出す際のキーボードの組合せは、以下になります。

1. CTRL キーを長押しします。(CTRL KeyDown)
2. レイアウトの ID 番号 (レイアウトボタンに表示されている数字) を入力します。
3. CTRL キーを離します。(CTRL KeyUp)
4. 入力した ID 番号のレイアウトに切り換わります。

6. 製品仕様

項目		内容		
入力信号	映像	HDMI / DVI	8 系統 HDCP 2.2 対応 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン) 対応解像度 : VGA ~ 4K@30 (640 x 480 ~ 3840 x 2160) (注 1)	
		USB (注 2)	4 系統 コネクタ : USB Type A	
	音声	デジタル	8 系統 マルチチャンネルリニア PCM 最大 5.1 チャンネル コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン)	
		アナログ	8 系統 ステレオ L/R アンバランス コネクタ : ターミナルブロック (3 ピン)	
出力信号	映像	HDMI / DVI	4 系統 HDBaseT 出力との分配出力 HDCP 2.2 対応 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン) 対応解像度 : VGA ~ 4K@30 (640 x 480 ~ 3840 x 2160) (注 1)	
		HDBaseT (注 3)	4 系統 HDMI/DVI 出力との分配出力 HDCP 2.2 対応 コネクタ : RJ-45 対応解像度 : VGA ~ 4K@30 (640 x 480 ~ 3840 x 2160) (注 1) 最大延長距離 : 100 m (1080p)、70 m (4K@30)	
	音声	デジタル	4 系統 HDBaseT 出力との分配出力 リニア PCM 2 チャンネル コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン)、HDBaseT	
		アナログ	4 系統 ステレオ L/R アンバランス コネクタ : ターミナルブロック (3 ピン)	
機能	スキャンコンバート部	ピクチャ・イン・ピクチャ (PinP2)、完全シームレス切換 (注 4)、ベゼル補正機能		
	その他	Web ブラウザ制御、メディアプレーヤー機能、スケジューリング機能		
外部制御	RS-232C	1 系統 コネクタ : ターミナルブロック (3 ピン)		
	LAN	1 系統 コネクタ : RJ-45		
その他仕様	電源電圧	100 - 240 VAC \pm 10%, 50 Hz/60 Hz \pm 3 Hz		
	消費電力	約 46 W		
	外形寸法	435 (W) x 67 (H) x 334 (D) mm (1.5U EIA ラックマウント、突起物含まず)		
	質量	約 3.5 kg		
	湿度	使用範囲 : +5 °C ~ +40 °C	保存範囲 : -20 °C ~ +60 °C	
	湿度	使用範囲 : 10 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)	保存範囲 : 10 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)	
	付属品	電源コード		

(注 1) インターレースは非対応となります

(注 2) メディアプレーヤー機能利用時に、入力として利用可能です

(注 3) Dexon 社専用受信器 : DCATR との接続が推奨となります

(注 4) PinP ウィンドウ表示時や切り換えによりウィンドウサイズが変更となる際は、シームレス切換とはなりません

7. 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しない場合は、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点を事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

DIMAX804KC 取扱説明書

Ver.1.1.0

発行日：2022年11月29日



株式会社アルバニクス

本社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>